

外科的大動脈弁置換術を施行した症例における術前栄養状態と臨床的予後の比較検討

1. 研究の対象

対象：2014/1/1から2023/12/31までに外科的大動脈弁置換術が施行された病客さま

除外：研究への参加同意が得られなかった病客さま、透析病客さま、感染性心内膜炎の病客さまなど

2. 研究目的・方法：

a) 目的

周術期における低栄養状態は傷の治癒遅延や術後合併症の発現率を上昇させ、病客さまの予後に影響を与えることが先行研究により報告されています。そのため、周術期に低栄養状態が併発することのないよう術後の栄養管理を行うことは、治療の過程の中で非常に重要な役割をもつと言えますが、具体的な介入を推奨する基準やそれにふさわしい栄養評価指数についての検討は十分になされていません。そこで本研究では、当院にて外科的大動脈弁置換術を施行された病客様を対象に、術前および術後の栄養状態を予後栄養指数(PNI)や高齢者栄養リスク指数(GNRI)などの指標を用いて評価し、それが術後の回復や、合併症にどのように関係するか調査することを目的としています。

b) 方法

①退院時の栄養状態を予後栄養指数(PNI)や高齢者栄養リスク指数(GNRI)などの指標を用いて評価

②-それぞれの栄養指標と臨床的予後の相関性を統計学的手法で検討

②-2 PNI および GNRI のいずれがより正確な臨床的予後を反映しているか比較検討する

3. 研究に用いる試料・情報の種類：

診療録より血液検査・心臓エコー・身体機能・認知機能検査の結果などから情報を収集します。

4. 研究組織

心臓病センター榊原病院(外部への情報提供はありません)

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて病客さまもしくは病客さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先まで2024年8月31日までにお申出ください。その場合でもその後の診療など病院サービスについて病客さまに不利益が生じることはありません。

[照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町2-5-1/電話：086-225-7111

実務担当者：加藤 有里菜(薬剤部)

研究責任者：奥村 佳史(薬剤部)